

八幡山文庫

2807号

特集

孟蘭盆会・施餓鬼会
.....4・5ページ
歳時記
.....9ページ
お地蔵さん前かけ奉納
.....11ページ

護摩の炎に願いを託す 不動護摩堂大祭 特別護摩祈祷会厳修



去る6月5日・13日に不動護摩堂にて特別護摩祈祷会が行われました。参加者は願い事の書かれた護摩木を、自らの手で壇にくべました。また東海三十六不動霊場お砂踏みもあわせて行われました。

杜のコラム

また今年も夏が来る。昨今、気温が三十度を超えることと驚かなくなってきたが、梅雨に入ってから、七月半ばに明けけるまでは暑さの中にじつとりとした独特の重みがあつて、何とも気鬱さを誘うものだ。

この季節になるとなぜだか目にとんと、高校の日本史の授業が浮かぶ。もっと細かに言えば、教室と先生と、さらには黒板の上の文字を思い出すのである。左端から丁寧に、びつしりと書き込まれていく。ぼんやり片附いて眺めていようものなら、あつという間に筆記が追えなくなってしまう。それほどの速さで書かれるのに、文字ひとつひとつの筆圧が濃く、授業の後に消しても消してもうっすら残るほどであった。年齢の割には背が高く、大きな声でさうくばらんに笑って話す先生であったから、その少し癖のある密な文字がやや意外に感じられたものであった。熱と湿気のもる教室で、

カツカツと音を立ててチョークが黒板を白く埋めていく。眠気と戦いながら、その文字を追っている制服姿のクラスメイト。遠い、モノクロの記憶が今なお薄れていないのは、ご縁続いてその先生と今なお季節の葉書のやりとりをしているからだ。小暑の暑中見舞いを出さねば、と思う。横着していると、先に便りをいたたいてしまうこともある。小さな葉書を埋めるその文字は、昔とちつとも変わらない。

パソコンや携帯電話の自動変換に甘え、日頃頭を動かさなくなつたせい、たまに字を書くとき漢字がとつさに出てこない。紙の上の自分の字は、目を覆いたくなるような代物だつたりする。手も、使わなければ衰えるばかりなのだ。と実感する。

旧暦七月の別名「文月」は七月七日の七夕に筆の上達を願つて詩歌を献じた風習からきている。久しく紙とペンに触れてない人も多かろう。昔にならなくて、鈍った手を動かして文でも書いてみてはいかがだろうか。

7/13(水)~15(金)

七月盆 葵燈籠会のご案内

お盆はご先祖さまや、亡くなった近親者の霊を生前過ごした家にお迎えする大切な行事です。新暦の七月盆にあわせ、興正寺ではご供養のための諸法会を厳修いたします。



◎迎え法会/13日 16時

◎送り法会(精霊流し)/15日 18~20時

我が家へと帰ってくるご先祖さまをお迎えし、そして送りする大切なおとめです。ぜひご参加ください。

盆飾りのご供養は送り法会にて承ります。(供養料1,000円)

七月盆合同供養会 西山本堂にて

	13日	14日	15日
8:00		○	○
11:00		○	○
16:00	○	○	○

供養料:一霊5,000円(盆供養之證牒)

※予約優先。振込(6/30まで)もしくは来寺(当日まで)にてお申し込みください。

三燈一会 ~大切なひとと一緒に献灯を~

期間中は竹燈籠が並び、やさしく境内を照らします。そのやわらかな色を楽しむとともに、どうぞ皆さまご自身の手で、灯を点してください。

(竹燈籠点灯時間18:30~21:00、最終日は20:00まで/雨天時中止)



7/12(火) 月釜
10時~15時 竹翠亭・耕雲亭にて
薄茶席(竹翠亭)
村瀬玄之社中
興正寺
薄茶席(耕雲亭)
(茶券)
薄茶席二席 千五百円
※当日販売あり
※興正寺席は、立礼席・冷抹茶です



7/3(日)・15(金)・27(水)
8/8(日)・20(土)
戊の日 安産合同祈禱会(要予約)
14時より本堂にて ※7月15日は10時より
古来より興正寺は安産の名刹として信仰されております。子宝・安産守護として「大随求陀羅尼」の御守をお持ちいただき、安産祈禱を勤めております。



平成28年度 孟蘭盆会・施餓鬼会
8/7(日)・16(火) 施餓鬼法会
8/10(水)・15(日) 盆合同供養会
8/12(金) 初盆合同供養会
8/13(土) 興正寺施主慰霊法会
8/14(日)・15(日) 精霊流し・盆踊り
※詳細はP4・P5および山内チラシにてご確認ください。

7/15(金) 青葉まつり
13時より 厳修
特別朱印
旧暦六月十五日は弘法大師のお誕生。緑のあざやかな季節のため「青葉まつり」とよばれます。私たちをいつも見守ってくださっているお大師さまのご生誕をお祝いします。
※12時45分より法話あり
※法会終了後、「弘法大師行状絵図」絵解きあり(約30分)



< 七日経・年忌法要と十三仏 >

1	初七日	不動明王
2	二七日	釈迦如来
3	三七日	文殊菩薩
4	四七日	普賢菩薩
5	五七日	地藏菩薩
6	六七日	弥勒菩薩
7	七七日	薬師如来
8	百々日	観世音菩薩
9	一周忌	勢至菩薩
10	三回忌	阿彌陀如来
11	七回忌	阿闍如来
12	十三回忌	大日如来
13	三十三回忌	虚空蔵菩薩



△薬師如来(イメージ)

◆◆◆ 仏教界のお医者さん ◆◆◆
薬師如来さまは、正式には「薬師瑠璃光如来」といいます。東方浄瑠璃世界の主で、別名を「医王仏」。この名が示す通り医療を司る仏さまで、その手には薬壺を持っていらつしやいます。「西方の阿彌陀、東方の

薬師」といわれ、阿彌陀如来さまが全ての人を死んだ後に西方(極楽)浄土に導くと信仰されているのに、薬師如来さまは私たちが生きている間に救いの手を差し伸べてくれる「現世利益」の仏さまです。

人が亡くなつてから、次の生を受けるまでの四十九日は「中陰」とよばれ、故人が生と死の狭間の世界を歩いている期間です。この間、家族は毎日の生活を正しくし、亡き方が成仏できるよう祈り慎んで日々を送ります。中陰が終わる四十九日目が「忌明け」、大切な節目のご供養となります。今月はその守護仏さまである「薬師如来」のおはなしです。



たかのしょうせい
高野 正清

< 薬師如来の十二誓願 >

1	「光明普照(こうみょうふしょう)」	すべての人々を仏にする
2	「随意成弁(ずいいじょうべん)」	すべての人々を明るく照らし、人々が善い行いをできるようにする
3	「施無尽仏(せむじんぶつ)」	すべての人々が必要なものを手に入れることができるようにする
4	「安心大乘(あんじんたいじょう)」	すべての人々を大乘仏教の正しい教えに導く
5	「具戒清浄(くかいしょうじょう)」	すべての人々に戒律を保たせる
6	「諸根具足(しよこんぐそく)」	すべての人々の身体上の障害を無くす
7	「除病安楽(じよびょうあんらく)」	すべての人々の病を治し心身ともに安らかでいられるよう援ける
8	「転女得仏(てんにょとくぶつ)」	女であることによって起こる修行上の不利な点を取り除く
9	「安心正見(あんじんしょうけん)」	精神的苦痛や煩悩を浄化できるよう援け完全なさとりに到達させる
10	「苦惱解脱(くのうげだつ)」	国法による災いなどの災難や苦痛から解放する
11	「飲食安楽(おんじきあんらく)」	すべての人々が飢えや渇きに苦しむことがないようにする
12	「美衣満足(びいまんそく)」	すべての人々に衣服を与え、心慰めるものを与えて満足させる

◆◆◆ お薬師さんの、十二の誓願 ◆◆◆
薬師如来さまは修行者である如来のとき、十二の大願を立てられました(別表)。この中の一つに「除病安楽」(病を直し苦痛を除き、心身ともに安らかでいられるよう援ける)があります。この言葉にはすべての人々を救いたいという、薬師如来さまの慈悲深い願いがとてよく表れています。

◆◆◆ 仏の世界への旅立ち ◆◆◆

四十九日、中陰が終わる忌明け(満中陰)を迎えます。亡き方は生と死の狭間から仏さまの世界に旅立ちます。とても大切な日です。だから私たちは法要を営み、亡き方に対し「無事に仏さまの世界にいつてもられますように」と経をあげ手を合わせて願います。

先ほど出てきた薬師如来さまの十二の願いのうち、第一の誓願は「すべての人々を仏にすること。まさに四十九日を守る、ありがたい仏さまなのです。」
合掌

ツウの細道

先月の蜚放生会(ひはうせい)はとてもきれいでしたね。蜚の命を自然に返すことにより、命の尊さやありがたさを感じていただけたのではないかと思います。私たちはご先祖さまが繋いでいただいた命の末端を生かされています。周りのすべてのご縁に感謝できる心の豊かさを身につけたいものです。



縁日さんぽ

縁日の行催事を中心に、興正寺の風景をお知らせしていきます!

観音堂 九万九千日
奉納のぼり幡、受付中!

奥之院 ご注意ください①
7月15日は11時から!

能満堂 ご注意ください②
7月24日は大書院にて!



8月10日に行われる九万九千日。この日にお参りすると、九万九千日分の功德をいただけるのだとか!この有り難い日に奉納するのぼり幡受付中です。一年間、奉納されますよ。

観世音菩薩九万九千日 8月10日(水) 9時より

7月15日の奥之院縁日は、いつもと違って11時からおつとめが行われます!時間にご注意くださいね!また8月はお盆に入るため、15日のおつとめは行われません。ぜひ7月にお参りください!

7月24日の地藏菩薩縁日は、いつもと違って大書院で行われます!場所にご注意くださいね!この日は「お寺でおとまり会」「子ども寺子屋くらぶ」の子どもたちが参加してとてもにぎやかですよ。お楽しみに!

お参りしよまい!興正寺の諸堂縁日

興正寺の縁日は5日と13日だけじゃありません!山内のあちらこちらにある御堂で、様々な仏さまをお祀りして縁日のおつとめを行っています。誰でも参加できるこれらの縁日、御堂や担当のお坊さんによって雰囲気は全然違うんですよ!

8日 大日如来 (大日堂) 高野正清	15日 阿弥陀如来 (奥之院) 渡邊正大	18日 観世音菩薩 (観音堂) 西山海良	21日 弘法大師 (弘法堂) 三井正優	24日 地藏菩薩 (能満堂) 豊田正純	28日 不動明王 (不動護摩堂) 小松永明
-----------------------------	-------------------------------	-------------------------------	------------------------------	------------------------------	--------------------------------

興正寺僧侶と行く
団体参拝

京都六地藏めぐり

日帰り

「一体の太木から刻んだ六体の地藏」



京都では古くから続けられてきた、800年の歴史を持つ伝統行事です。

- ①大善寺(伏見地藏)/藤原鎌足の子、定慧によって創建
- ②浄徳寺(鳥羽地藏)/源平盛衰記でも有名な悲恋の地
- ③地藏寺(桂地藏)/高さ2メートル、彩色も見事
- ④源光寺(常盤地藏)/上善寺の姉子地藏に対して乙子地藏と呼ばれます
- ⑤上善寺(鞍馬口地藏)/863年創建の古刹
- ⑥徳林庵(山科地藏)/東海道の守護仏

朱印代

朱印代 御幡代
1,800円(6ヶ寺) 1,800円(6ヶ寺)

正純さんがご案内!



旅行期間

集合時刻・場所

旅行代金

[日帰り] 平成28年8月22日(月) 7時10分/興正寺光明殿 (おひとり様) 10,000円
7時15分より本堂にてお参りをいたします

申込締切 8月8日(月)

◆上記締切日に係わらず、募集人員(44名)になり次第、締め切りとなります。お早めにお申し込みください。

旅行企画・実施 クラブツーリズム株式会社 名古屋テーマ旅行センター
〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3-3-21 セントライズ栄 TEL.052-300-0011
観光庁長官登録旅行業第1693号 | 総合旅行業務取扱管理者 勸使河原 大二 | 平成28年2月20日発行 | 管理番号:54057
お問い合わせ先 八事山 興正寺 〒465-0825 名古屋市長和区八事本町78 TEL.052-832-2801 FAX.052-861-9777
フリーダイヤル 0120-8510-78

命の営みに感謝する 私たち家族の勤めとして

平成28年 八事山興正寺 盆合同供養会

予約
優先

仏教本来の由緒正しきご供養をご先祖様へ

※供養代参「遙拝供養」をご希望の方は、お申込み時にお申し出ください。「遙拝供養」については下部を参照。

興正寺での納骨の有無に関わらず、
どなたでもご参加いただけます。

期 間／8月10日(水)～15日(月)

受 付／西山本堂 (10分前までに受付をお済ませください。)

供養料／一霊 5,000円 (「盆供養之證牒」授与)

	10日(水)	11日(木・祝)	12日(金)	13日(土)	14日(日)	15日(月)
8:00	○	○	○	○	○	○
11:00	○	○	○	○	○	○
13:00	○	○	○	○	○	○
16:00	○	○	○	○	○	○
19:00	○	○	○	○	○	○

… 混雑が予想されます ☒ … お受けできません

※所要時間 30～40分程度

圓照堂にご納骨の方

期 間／8月10日(水)～16日(火)

受 付／圓照堂 (10分前までに受付をお済ませください。)

供養料／一霊 5,000円 (「盆供養之證牒」授与)

	10日(水)	11日(木・祝)	12日(金)	13日(土)	14日(日)	15日(月)	16日(火)
8:00	○	○	○	○	○	○	○
10:00	○	○	○	○	○	○	○
11:00	○	○	○	○	○	○	○
14:00	○	○	○	○	○	○	○
15:00	○	○	○	○	○	○	○
16:00	○	○	○	○	○	○	○
19:00	○	○	○	○	○	○	○

… 混雑が予想されます

※19時の回は、西山本堂での受付となります。
※合同供養期間中はお遺骨・お位牌はだせません。
※所要時間 30～40分程度

申込方法 振込、または来寺にて ※ご都合が合わず、参列できない方は「遙拝供養」にてお申し込みください。

初盆合同供養会

本年 初盆をお迎えの方

予約
優先

興正寺での納骨の有無に関わらず、どなたでもご参加いただけます。

日 時／8月12日(金) 14:00～、15:30～、17:00～

供養料／一霊 5,000円

※お時間の15分前までに受付をお済ませください。

※舊山へご納骨済の方へは、時間を指定した申込書をお送りしております。

興正寺施主慰霊法会

興正寺が施主となり、當山に有縁の方のご供養を修します。

日 時／8月13日(土) 14:30～

場 所／西山本堂

※当法会の見学は自由ですが、ご自身が施主となつてのご供養をおすすめします。盆合同供養会へお申し込みください。

遙拝供養とは？

「遙か遠く離れた場所からでもご先祖を拝む」の言葉通り、興正寺にて厳修される各合同供養会や慰霊法会に、ご都合が合わず参加できない皆さまの為にご用意させていただいた、興正寺ならではの供養スタイルです。

お申込みさえお済ませいただければ、あとは興正寺僧侶が皆さまに代わって、真心を込めて読経を厳修し、仏さまやご先祖さまのもとへ、皆さまの善行をお届けいたします。「遙拝」をされる皆さまはどうぞご自宅やお仕事先などから、ご先祖さまに心を込めて手をお合わせてください。その気持ちがご供養の大切な心です。

興正寺での納骨の有無に関わらず、どなたでもご参加いただけます。



お施餓鬼の いわれ



お盆の「供養」と、いわゆる「お施餓鬼」とは全くの別のものであることをご存知でしたか？

お盆(仏教における正式呼称は「盂蘭盆会」)の間中は、盆供養とお施餓鬼の法会を同じ時期に行う寺院も多く、一般の方には混同されてしまいがちです。

しかし、本来のお施餓鬼とは、1年365日を遡ることなく、あの世にいらっしゃるご先祖様の為に塔婆を捧げ、その功德をお繋ぎする尊い営みなのです。

お施餓鬼とは

興正寺では1年を通じて、毎日お勤めしている法儀の一形態です。お釈迦さまと阿難の故事に由来し、あの世の「六道」のひとつ、「餓鬼道」にいる餓鬼(生前の悪行によって餓鬼道に落ち、常に飢えと渇きに苦しんでいる魂)に水や食べ物のお供え(施し)をして、その苦しみを和らげ供養するのが、お施餓鬼です。その功德はご先祖さまへも及び餓鬼道へ落とすことなくそのままご供養へと繋がると同時に、施餓鬼塔婆には、福德延寿や子孫長久の功德があるとされています。

施餓鬼法会(7日)・大法会(16日) **予約優先**

日時/8月 7日(日) 15:00~
8月16日(火) 11:00~、13:00~、15:00~

場所/西山本堂

受付/普照殿(10分前までに受付をお済ませください。)

塔婆料/塔婆「一霊」の場合:

六尺 30,000円/五尺 10,000円/四尺 5,000円

塔婆「先祖代々」の場合:

六尺 50,000円/五尺 20,000円/四尺 10,000円

※所要時間 30分~1時間程度(待ち時間含む)

申込方法

振込、または来寺(納経所)にて ※ご都合が合わず、参列できない方は「通拝供養」にてお申し込みください。

とうば 塔婆とは?

「卒塔婆」の略語で、サンスクリット語のストゥーパがルーツ。昔、釈迦が入滅したあと、その舍利(遺骨)を納めた塔(ストゥーパ)を建てて供養したのが始まり。

卒塔婆は、故人や先祖を供養する追善供養(生きている人が亡くなった人に対して行う供養のこと)の目的で建てられます。追善の文字があらわすように、生きている人が亡くなった人の代わりに、この世で行う行為で、その功德はまた自分に戻ってくるという考え方です。

塔婆
大きさ
一覧



興正寺の塔婆は、1本1本手書きでおつくりしております。



精霊流し

盆踊りやお供えをお持ちください。送り火として蓮ろうそくを授けたいしますので、御霊をお送りください。

日時/8月14日(日)・15日(月) 17:00~20:00

受付/西山本堂前テント

供養料/1,000円(送り火蓮ろうそく授け)

◆ご希望の方には500円で蓮ろうそくのみ授けいたします。
盆踊りをお持ちでない方も、どうぞ一緒に御霊をお送りください。

盆踊り

盆踊りとはもともとは仏教行事で、平安時代に始められた念仏踊り(通念仏)が、盂蘭盆の行事と結びつき、精霊を迎える死者を供養するための行事として定着していったのが始まりと言われています。

日時/8月14日(日) 17:30~20:30
15日(月) 17:00~20:00 ※両日雨天は13:00~

場所/五重塔前やぐら



「ミス日本酒」も
やっています!

地域版

人と街とお寺をつなぐ場所
八事山文庫

文月

旧暦七月の
こと
七々にちなんだ「文月」
福徳ふくらむ「福含月」

小暑

七月七日

梅雨が明け、蝉が鳴きはじめ、暑さが本格的になってくる頃。暑中見舞いを出す時期でもある。

大暑

七月二十日

一年でもっとも暑さが厳しく感じられる頃。各地で夏の風物詩である花火大会や祭りが催される。

ひと

七月盆を彩る、竹燈籠の仕掛け人

東浦竹燈籠の会代表 木村 滋さん

名古屋から車で約三十分。知多半島道路は東浦知多インターを降りてまた十五分程走ると、水田と畑に囲まれた小さな森が見えてくる。自然とふれあい、人と自然の関係を学ぶ場、東浦町の「自然環境学習の森」だ。一七キロの遊歩道がのび、里山の生き物や植物を観察することができる。

里山を保全する様々な活動の中で、竹林の手入れとその資源の再利用に取り組んでいるのが、木村さんを代表とする「東浦竹燈籠の会」、約二十名だ。毎年十二月頃から伐採し、年が明けてからは竹燈籠、竹細工の作成を並行して行う。

興正寺との縁は平成二十六年の葵燈籠会から。七月盆にあわせた新しい夏の風物詩を、というお寺からの申し入れを快諾。千本を超える竹燈籠の、その幽玄なる灯は初年度から好評を博し、今年で三年目を迎えることとなった。

メンバーそれぞれの力と特技を持ち寄り作られていく竹燈籠を、木村さんはあたたかく見守る。昨年はLEDを使用した、青や赤の鮮やかな色の光も登場した。手間ひま愛情、たっぷりの竹燈籠。今年はどうな景色を私たちに見せてくれるのだろうか。

＞昨年度の「葵燈籠会」竹燈籠文字入りだ。



△手作りの竹燈籠。愛情とアイデアがつまっている



△メンバーが集う「森のカフェ」。これも全て手作り



●木村 滋さん

東浦竹燈籠の会代表。東浦町の「自然環境学習の森」を活動の中心とする。竹林の竹を利用して竹燈籠の作成をし、施設や寺院などのイベント時に並べて、みる人たちの心をなごませている。

(お問い合わせ先)
東浦竹燈籠の会
愛知県知多郡東浦町

TEL/0562-51-7697
基本の活動日/土曜日・日曜日
9:30-12:00のうち2時間
E-mail/
nanairo@ma.medias.ne.jp

親子で読みたい

ことのはあそび

「身口意」。身体・言葉・心、この三つを同時に高めていくことが大切だという。お大師さまの教えの一つです。このコーナーでは、声に出して誰かに聞かせてあげたい言葉の葉たちを毎月ご紹介していきます。

お空を流れる白い川
ミルクの色の遠い川
あれは鷺でせう 白い鳥
ほつかりほわりと渡ります

笹の葉に吹く風の音
さらさら流れる音のやう
鷺のお使ひ 二つ星
ほつかりほわりと渡ります

「お空の川」櫻間中庸



七月七日は七夕。彦星と織姫を隔てる天の川。街中ではなかなか見ることができませんが、見えなくてもそこに確かに星はあるのです。桜間中庸(1911年-1934年)は岡山県生まれ、早稲田大学在学中に夭折した学生詩人、児童文学者。



ジュンペリール

昨日 今日 あした…

八事のお山は、この季節「初夏のペー」ですが、これが氣にラッシュ(?)と呼びたい風情です。5月を過ぎた頃から水辺にはカルガモの夫婦が仲良く泳ぎ、お山の様々な花が実りを迎えています。写真は花を呼ぶ声が聞こえる、今年に納経所のジュンペリールは実際に美味しかったです。姿(笑)よくこのコラムに



花蘇芳の実

八事のお山は、この季節「初夏のペー」ですが、これが氣にラッシュ(?)と呼びたい風情です。5月を過ぎた頃から水辺にはカルガモの夫婦が仲良く泳ぎ、お山の様々な花が実りを迎えています。写真は花を呼ぶ声が聞こえる、今年に納経所のジュンペリールは実際に美味しかったです。姿(笑)よくこのコラムに

毎月21日
興正寺マルシェ

マルシェ×竹翠亭

毎月二十一日のマルシェにあわせ、竹翠亭が「和」の入口に案内します。どうぞお気軽にご参加ください。

「マルシェ点前」
十時～十三時
僧侶によるお点前でお抹茶を
楽しみましょう！(五百円)

「マルシェ着付体験」
十時～十四時
服の上から着付けてみる、気軽な体験です(無料)

子ども寺子屋くらぶへのお誘い

興正寺のお茶室・竹翠亭スタッフが主催する、子どもたちと昔ながらの年中行事や四季折々の遊びを楽しむ会です。
登録していただくと、行事案内をお届けいたします。
(会費無料)

興正寺へのお問い合わせは
・お電話 052-832-2801
(年中無休9:00～18:00)
・E-mail yagotosan@koushoji.or.jp
・興正寺HP、公式Facebookは
随時更新中です

●甘味・食事処「八琴庵」より
興正寺限定!
「お遍路もなか」

八琴庵メニューに暑い夏にピッタリのアイスもなかがありました。もなか皮を菅笠・小枝を金剛杖にみたてた「お遍路もなか」、古くよりお遍路参りの結願の場として、多くの方々にお参りいただいている興正寺ならではの甘味です。

**お知らせ
掲示板**



◎バニラ 400円

バニラアイスと相性の良いあずきと白玉をのせた上品な味

◎そば(ヤゴトラカン入り) 450円

蕎麦工房紗羅製の蕎麦アイスにヤゴトラカンと蕎麦の実をのせた蕎麦づくしのもなか

是非とも、暑い夏のひと時に
ひんやり冷たい「お遍路もなか」
ご賞味ください。



八琴庵 営業時間と定休日のお知らせ

営業時間 9:00～17:00(L.O.16:30)
定休日 毎月5日を過ぎた火曜日
7月の定休日は7月12日(火)
8月の定休日は8月9日(火)となります。

仏事の

ひ、ふ、み、



仏事のこと、なんでも知ってるよって人はいますか?

自信をもって手を挙げられる人は少ないんじゃないのかな。いざその時になってみないとわからない仏事のあれやこれ、お坊さんに聞いて一つずつ解決しちゃいましょう。

その18「神さま仏さま」



おっさま聞いて!この間、伊勢神宮というところに連れて行ってもらったの!

伊勢志摩サミットが開催されて、テレビにもたくさん出ていたね。



伊勢神宮には神さまがいるって教えてもらったんだけど…お寺にいるのは仏さまですよね?神さまと仏さまって…違うの?

私たち日本人は、古くから自然にとっても感謝してくらしてきました。だから、「八百万(やおよろず)」といわれるほど、色々なものを信仰の対象としてきたんだよ。これが神社・神宮にお祀りされている「神さま」だね。対して「仏さま」は6世紀頃に仏教と言う教え、考え方と一緒に中国からやってきた信仰だよ。
(少し長くなるので、続きは来月!)



興正寺ホームページでは仏事のお悩みをズバツと解決!トップページから、「仏事とお墓のお悩み解決」をクリック!



寺宝

通心

寺宝公開① 初夏の図

今年も夏がやってきます。季節はめぐりくるものと分かっていても、過ぎた暑さは身に堪えるもの。皆さんはどんな工夫で凌がれるのでしょうか。

今回ご紹介する「初夏の図」は、なんともうらやましい夏のひとときを描いた作品です。

濃淡の美しい葉が重なり、涼やかな木陰を作っています。そこに描けた簡素な敷物にはひとりの男が座し、ゆったりとくつろいだ様子で大甕にもたれかかっています。空に向けた視線の先には何があるのでしょうか。



△初夏の図(部分)

七月十三日から十五日までの三日間、「夏の宝物展 涼を愉しむ」を開催します。「初夏の図」をはじめ、夏を題材に描かれた作品を展示解説いたしますので、ぜひ涼を探しにお越しください。



夏の宝物展『涼を愉しむ』

暑い夏、涼を探しにいらっしゃいませんか。

期：平成28年7月13日(水)～7月15日(金)
間：10時～16時 ※15日のみ15時まで
所：興正寺大書院 ※入口は茶室竹翠亭です
観料：500円(季節の和菓子と抹茶付)

夏の子ども寺子屋くらぶ
『夏のお便りを書こう』

◆日時 平成28年7月24日(日)
10時～14時
◆受付 9時30分から
◆場所 興正寺竹翠亭
◆支具料 子ども/2,000円 おとな/1,000円



内容 ①夏のお便り(ハガキ)を書く ②行儀作法(ものの受け渡し)
③こども地藏縁日(菓子まきあり)

竹翠だより

お茶が教えてくれた
しあわせ

五節供の室礼

竹翠亭では、夏支度で障子を御簾に替えるなど涼しげな室礼にしておりますが、特に、五節供には特別な室礼をいたします。

節供といえは、雑祭りと端午の節句を思い浮かべますが、江戸時代に、五節供が「式目」とされました。現在は「節句」の字が使われています。一月七日(人日)、三月三日(上巳)、五月五日(端午)、七月七日(七夕)、九月九日(重陽)が五節供です。

今年はずでに、正月、ひなまつりの室礼を、近日では、端午の節供で尾形光琳の燕子花図をイメージした室礼を見に多くの方が竹翠亭を訪れてくださり、お楽しみいただきました。

七月の節供の「七夕」は、中国から伝わった乞巧祭と日本の棚機女の風習が一緒になったと伝えられています。平安時代は、祝の葉に願い事を書いていましたが、江戸時代には現在と同じように短冊が使われていました。

竹翠亭では、六月三十日より七月八日まで、七夕の室礼をいたします。七夕にちなんだお菓子もご用意しております。

梅雨のジメジメしたこの頃、どうぞ夜空の星に思いを馳せにお越しください。お待ち申し上げております。



八事山歳時記

八事の杜にホタルが舞う 観螢会

六月十一日(土)に毎年恒例の観螢会が開催され、子どもたちの手によってホタルの放流(放生会)が行われました。集まった子どもたちの健康やかな成長を願い、僧侶が一人ずつ加持した後、ホタルを手渡しました。子どもたちはやわらかく光るホタルをしつかりと観察した後、名残惜しそうにビオトープへ放していました。



僧侶の一大修業期間 夏安居

去る五月二十二日(日)より夏安居のおつとめが始まりました。僧侶が釈迦如来の御軸の前で戒律について説かれた『梵網経』をお唱えながら、仏教徒として守るべき行いをしているかを自らに問い、懺悔します。このおつとめは毎朝、西山本堂にて八月六日(土)の結願まで続きます。



不動護摩堂大祭 特別護摩祈祷会

不動明王をお祀りする不動護摩堂大祭が六月五日(日)、十三日(月)に厳修されました。特別護摩祈祷会では、参拝者が願い事を記した護摩木を手ずから炎の中に供え、諸願の成就を祈りました。また、東山奥之院においては東海三十六不動霊場お砂踏みが開催されました。不動明王は、平安時代に弘法大師によって唐より伝えられた密教特有の仏で、厄除や交通安全の利益をいただけるとして広く信仰されており、ます。



興正寺車両祈禱

参道にて、法人車両祈禱が厳修されました。参拝された方々は会社の繁栄や安全を祈願し、社業に対する決意を新たにされました。



お釈迦さまの誕生日を祝う 花まつり

旧暦四月八日にあたる五月十四日(土)、花まつりが行われました。当日は朝から釈迦誕生時に甘露の雨を降らせたとする龍を模した花御堂が本堂前に設置され、参拝者は釈迦の誕生を祝い、柄杓で誕生佛に甘茶をかけました。法会には百名以上が参加し、僧侶と共に手を合わせて感謝の気持ちを伝えました。



6月11日(水) 団体参拝 高野山奥之院参拝

高野山というとお参りが中心という印象の方が多いと思いますが、今回はお参りの部分だけでなく、自然の豊かさや高野山のおいしいものもご案内しました。



新たな魅力を知っていただくことができたのではないのでしょうか。お参りとともに高野山の文化にも触れていただき、より信仰を深めていただければと思います。合掌(隆真)



興正寺さくらカレッジチャリティー募金のご報告②

3月に開催された興正寺さくらカレッジにて集まった皆さまの募金を以て、児童養護施設「和進館児童ホーム」(名古屋市守山区)に「紙芝居セット」を寄贈いたしました。ご報告申し上げるとともに、皆さまのお心に感謝いたします。

興正寺では仏さまにお供えいただいたお菓子をお下がりとして毎月、児童養護施設に寄贈しており、末永い形でご支援できればと考えております。



△紙芝居セットの中から、正純さんが「かきじぞう」を朗読しました。

《金伍千円》 窪田千枝子

自 平成二十八年 五月一日
至 平成二十八年 五月三十一日

(順不同敬称略)

ありがとうございます。心より感謝申し上げます。合掌
八事山 興正寺

植樹・献木

志納ご芳名

興正寺の「標語」

2月より、五重塔前掲示板に僧侶輪番の標語が貼られていることにお気づきでしょうか。経典から、先達の書物から、言葉から。来月号より、ご紹介してまいります。

恩を知るは
是れ大悲の本

海良
西山海良

△2月1日～ 西山海良

喜意哀楽の
怒と哀を捨れば
人生は喜楽となる

正俊
三井正俊

△4月15日～ 三井正俊

玄珠を鑒く

正志
犬塚正志

△4月1日～ 犬塚正志

隣里和平し
震区肅恭す

隣人とは和やかに
世間の人は法をしくありたい
永明
小松永明

△5月1日～ 小松永明

お坊さんと行く 興正寺団体参拝

興正寺団体参拝では當山僧侶が随行し、一緒にお経をつとめ、バス中では法話もごさいます。どなたでもお気軽にご参加いただけます。お寺やお坊さんを身近に感じ、仏縁を深めていただければ幸いです。

平成28年度団体参拝予定

◆京都六地蔵めぐり 日帰り

随行僧侶: 豊田正純
8月22日(月)【旅行代金】10,000円(昼食代含む)
申込締切 8月8日(月)

◆秘仏特別開帳の旅 秋予定

- ◎日程、費用等は変更となる場合がございます。予めご了承ください。
- ◎募集定員に満たない場合は中止とさせていただきます。
- ◎各参拝の朱印等をご希望の場合は別途費用が必要です。
- ◎申込方法/ご来寺またはお電話にて
- ◎支払方法/ご来寺またはお振込にて前払い

お問い合わせ 光明殿受付 0120-8510-78
【取扱旅行会社】クラブツーリズム株式会社 名古屋テーマ旅行センター
〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3-3-21 セントライズ栄 TEL052-300-0011
観光庁長官登録旅行業第1693号 [総合旅行業務取扱管理者 勅使河原 大二]
旅行業公正取引協議会会員

●永代供養受付 定休日のご案内

来る9月より、＜毎月5日を過ぎた火曜日＞を定休日とさせていただきます。
ご不便をおかけいたしますが何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。
永代供養受付(光明殿1F) 10時～17時

一 お寺の法会まるごと体験！

いち にち しゅう よう え

一日修養会

「法話・法会参加(青葉まつり)・写経」7月15日(金)10時～15時30分
「青葉まつり」～弘法大師の誕生日～

平安時代初期に現在の香川県善通寺市でお生まれになった弘法大師さま。幼名、佐伯真魚(さえきのまお)。青葉の光る、旧暦6月15日のご誕生と伝えられます。青葉まつりでは弘法大師を讃える和讃(和語の歌)の数々が唱えられ、お釈迦さまの誕生にならって稚児大師のお像に灌仏がおこなわれます。

平成28年の一日修養会、テーマは「興正寺の法会」。
季節ごとにおこなわれる法会は、お釈迦さまやお大師さまにまつわるものなどさまざまです。くわしい解説を学んでから、法会に実際にご参加いただくことで、今までになく深く法会を体験していただけます。
法会参加者には特別朱印の授与もごさいます。(一日修養会専用朱印台紙つき)
もちろん、昼食と写経もごさいます。皆さまふるってご参加ください。

◎支 具 料: 一般 2,300円 社の誓会員 1,300円
(昼食付・特別朱印授与)

◎定 員: 60名 要予約 ◎申込締切: 7月12日(火)

◎お問合せ・お申込み: 光明殿受付 / 0120-8510-78

※支具料が事前にお納めいただけるようになりました。

今後の予定 | 8月7日(日)、11月15日(火)、12月4日(日) 日時・内容は変更することがあります。ご了承ください。

7月の興正寺講座

※日程・会場は変更する場合がございます。事前にお電話にてご確認ください。

仏讃歌

御詠歌上級 講師 鈴木隆弘
7月12日・19日 13時30分より 光明殿
金剛流御詠歌の上級者向け講座です。

御詠歌初級 講師 鈴木智弘
7月10日・15日・21日 14時より 光明殿
金剛流御詠歌の初心者向け講座です。15日・21日は本堂出仕。

体験する

阿息観 講師 杉浦宣秀
7月10日・20日・30日 14時より 普照殿／奥之院
ストレスゼロをモットーに、毎月ゼロの日(10・20・30)にやっております。誰でも心地よくリラックスできますよ!

阿字観 講師 杉浦宣弘
7月23日 13時より 奥之院
真言密教の基本的な瞑想法です。阿息観で基本的な呼吸法を習得してから受講することをお勧めします。

写経・写仏 講師 梶田英伸
7月21日 11時より 光明殿
毎月21日マルシェの日に行われる、写経写仏の体験です。どなたでもご参加いただけます。11時、13時より法話あり。

学ぶ

仏教入門講座 講師 森田泰澄 普照殿
7月28日 14時より

難しい用語を使わず、お経を中心に勉強していきます。脱線話も多いので気楽に参加できますよ。

仏典読み解き講座 講師 梶田英伸 普照殿
7月28日 10時より

仏典(仏教典籍)とは、仏教における権威ある書物のこと。ここでは、地獄極楽の古典的名著『往生要集』を読み解いていきます。

遊翠の心

茶室・竹翠亭にて行われる少人数制の講座です。時間や講座内容については、竹翠亭へお問い合わせください(全て要予約)。

写経

7月はお休みです 講師 西山海良 支具料1,500円

阿息観

7月26日 講師 西山海良 支具料1,500円

日々折々の書

7月11日 講師 中村 均 支具料2,000円

水墨画

7月22日 講師 山田静舟 支具料2,000円

きもの装い(初級・中級)

7月6日・14日 講師 小泉美代子 支具料2,000円

茶の古典を読む

7月14日 講師 梶田英伸 支具料1,500円



お地藏さま
奉納前かけ太藁集!!
(募集期間)
平成28年6月24日～8月24日

7月・8月の24日地藏菩薩縁日では大書院でのおつとめの後、お地藏さまに前かけ(よだれかけ)を奉納します。夏休み中にあたり「お寺でおとまり会」参加者をはじめ、多くの子どもたちが参加しますので、職員だけではとても枚数が作れません…皆さまの力をお貸しください!

- ❖24日の地藏菩薩縁日にお持ちいただくか、期間中に納経所へお持ちください。
- ❖おひとり様何枚でもご奉納いただけます。
- ❖大きさ、色、形は問いません。



奉納
南無地藏菩薩

申込受付中

「地藏盆奉納のぼり」

地藏盆(大祭)にて奉納するのぼりのご予約も承っています。8月24日から一年間、能満堂へと続く階段におさめられます。(奉納料 3,000円)



興正寺行事カレンダー

7月

普門園拝観時間 10:00~16:00
休園日/9日(土)・16日(土)・30日(土)

月	火	水	木	金	土	日
27 先負	28 仏滅	29 大安	30 赤口	1 先勝	2 友引	3 先負 戌の日 ◎安産合同祈禱会 14:00 本堂
4 赤口	5 先勝 ◎大随求明王 縁日 露店アリ 10:00 諸堂干支参り 大随求明王	6 友引 ▽遊翠の心 きもの装い 初級 10:00 中級 13:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円 ▽遊翠の心 想耕の茶 11:00 12:00 14:00 15:00 竹翠亭 予約優先 支具料 1,000円	7 先負 小暑	8 仏滅 ◎大日如来縁日 理趣分経祈禱 12:30 大日堂 大日如来	9 大安	10 赤口 ▽阿息観 14:00 奥之院 杉浦 宣秀 ▽御詠歌初級講座 14:00 光明殿 鈴木 智弘
11 先勝 ▽遊翠の心 日々折々の書 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円	12 友引 ☆興正寺 月釜 松尾流 村瀬玄之 興正寺 薄茶二席 1,500円 ▽御詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴木 隆弘 ★八尋庵定休日	13 先負 ◎虚空蔵菩薩 縁日 露店アリ 10:00 法話 10:00 諸堂干支参り 虚空蔵菩薩	14 仏滅 ▽遊翠の心 茶の古典を読む 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 樹田 英伸 ▽遊翠の心 きもの装い 初級 10:00 中級 13:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円	15 大安 戌の日 ◎安産合同祈禱会 10:00 本堂 ◎東山 奥之院縁日 11:00 奥之院 善之綱おくり ◎青葉まつり 13:00 12:45より 法話 ▽御詠歌初級講座 13:00 法会出仕 鈴木 智弘 ☆一日修養会(要予約)	16 赤口	17 先勝
☆夏の宝物展「涼を愉しむ」 拝観料500円(呈茶付)						
◎七月盆合同供養会 竹燈籠点灯 18:30~20:30(最終日20:00)						
16:00 西山本堂 16:00 迎え法会		8:00 11:00 16:00 西山本堂		8:00 11:00 16:00 西山本堂 18:00 送り法会		
虚空蔵菩薩		阿彌陀如来				
18 友引 海の日 ◎観世音菩薩縁日 13:00 観音堂 護摩祈禱/法話 観世音菩薩	19 先負 ▽御詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴木 隆弘	20 仏滅 ▽阿息観 14:00 奥之院 杉浦 宣秀	21 大安 ◎弘法大師縁日 10:30 弘法堂 読経/法話 ◎月並御影供 14:00 本堂 ▽写経写仏講座 11:00 光明殿 ▽御詠歌初級講座 14:00 本堂出仕 鈴木 智弘 弘法大師 興正寺マルシェ	22 赤口 大暑 ▽遊翠の心 水墨画 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円	23 先勝 ▽阿字観 13:00 奥之院 杉浦 宣弘 ☆お寺でお泊まり会	24 友引 ◎地藏菩薩縁日 13:00 大書院 大数珠おくり/ 紙芝居 ☆子ども寺子屋くらぶ ☆夏休みラジオ体操 6:30 五重塔前
地藏菩薩						
25 先負	26 仏滅 ▽遊翠の心 阿息観 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 西山 海良 ☆夏休みラジオ体操 6:30 五重塔前	27 大安 戌の日 ◎安産合同祈禱会 14:00 本堂	28 赤口 ◎不動明王縁日 14:00 不動護摩堂 護摩祈禱/法話 ▽仏典読解講座 10:00 普照殿 樹田 英伸 ▽仏教入門講座 14:00 普照殿 森田 泰澄 ▽遊翠の心 茶の席 (要問合せ) 不動明王	29 先勝	30 友引 ▽阿息観 14:00 奥之院 杉浦 宣秀	31 先負

目指せ皆勤賞!!
どなたでも
参加できます

ラジオたいそう

(期間)7月21日(木)~27日(水) (場所)五重塔前 ※雨天時は西山本堂内にて
(時間)朝6:30~ ◎6時45分~おつとめ・ほうわ ◎7時00分~おそうじ(希望者のみ) ※おそうじに参加される方は、可能であれば雑巾をお持ちください

